

八王子のバリアフリーを改善しよう！

To improve barrier-free of Hachioji !

創価大学 國島ゼミグループ1

北側達也¹⁾, 平井光一¹⁾, 梅津健太¹⁾, 大竹和也¹⁾

指導教員 國島弘行¹⁾

1) 創価大学経営学部経営学科 國島弘行ゼミナール

キーワード：バリアフリー, バリアフリーマップ, ユニバーサルデザイン

1. はじめに

今日の日本社会は様々な多様性が認められる社会に変化してきている。それに伴いバリアフリーも以前と比べると格段に進んでいる。特にここ数十年での交通や公共施設のバリアフリーの進展は目覚ましい。(平成 17 年度障害者施策総合調査、内閣府)私達が通う創価大学においても、エレベーターやエスカレーターはもちろんのこと、スロープが備わっていて、建物内もフラットになっている部分が多い。一方で大学構内は 高低差があり、坂道が非常に多く、特に車椅子を使用している学生にとっては移動するだけで重労働である。そこで、少子高齢化が進む日本の中で私たちの住む八王子のバリアフリーの現状を知りたいと思い調べることにした。

バリアフリー化の変化に対する評価

引用 国土交通省「バリアフリー化の推進」

2. 課題

私たちは八王子のバリアフリーを考えるにあたり、八王子の観光名所のバリアフリーの現状について調査した。様々な観光名所のホームページを調査して気になったことがある。観光地ごとにバリアフリーの対応にギャップがある。具体的には、バリアフリーに関する専用ページが用意されていないという点である。例えば、東京富士美術館ではバリアフリー専用のページがあり、バリアフリーを必要とする人に対して親切な対応がされている。一方で、東京サマーランドでは、バリアフリー専用のページはなく、障害者の方々への対応は一応記載されているものとても見にくく不親切である。

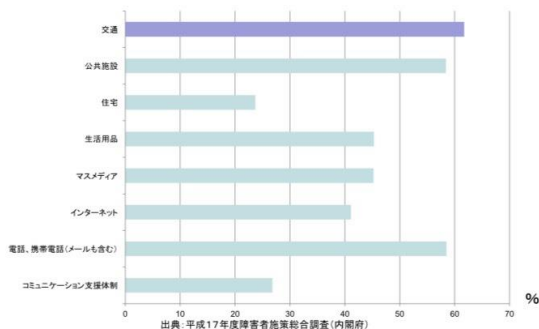
また、このような問題はバリアフリーに対する認知度や人びとの意識に対して影響を与える原因になると感じる。バリアフリー専用のページが用意されることで健常者がバリアフリーの大切さや価値について認識することができるのではないだろうか。

多くの人が閲覧するサイトでこのような問題が起きている。これらの問題はバリアフリー化の促進に対して大きな弊害となる。直ちに改善すべきである。

3. 提案

障害者施策総合調査における当事者の意向 (平成17年度：内閣府) ①
■ 約60%の障害者が、交通や公共施設のバリアフリー化が進んでいると評価。

この10年におけるバリアフリー化の変化(「とても利用しやすくなった」及び「利用しやすくなった」の合計)



バリアフリーに関する課題の1つとしてホームページの整備について挙げた。2章でも述べた通り、八王子の各観光地において対応のギャップが存在する。高齢化が進む日本において、多くの人を訪れる観光地で深刻な問題となっている。そこで、八王子市のあらゆる施設を網羅したバリアフリーマップを作成することを提案する。観光地を始め、飲食店や公共施設などバリアフリーに対応している施設を一括で検索できる専用ページを目指す。現在、多くの都市でバリアフリーマップの整備はされているが、その多くが不便なつくりとなっている。このような現状において、福岡市のバリアフリーマップは際立って便利だ。障害の特徴ごとや、目的別に検索することができる。さらに大きな特徴として、情報量の多さが挙げられる。それは、市役所が施設管理者に対して、バリアフリー調査票をもとに情報提供を促しているためである。



福岡市バリアフリーマップ

引用 福岡市「福岡市バリアフリーマップ」

このようにバリアフリーの充実化を図ることで八王子市民全体のバリアフリーに対する意識は高まる。すべての人がバリアフリーに協力的になることで、八王子がより住みやすいところになるのではないだろうか。

4. 今後の展望

今回私たちはバリアフリーについてまとめたが八王子がより住みやすくなるためにはユニバーサルデザインの考え方が大切になってくる。ユニバ

ーサルデザインとは、最初から多くの方に使いやすいものを作る設計手法として発明された。一方、バリアフリーは障害者・高齢者などの生活弱者のために、生活に障害となる物理的な障壁の削除を行うという、過去の反省に立った考え方で進化してきた。バリアフリーは、障害者・高齢者などに配慮されて策定しているが、ユニバーサルデザインは、個人差や国籍の違いなどに配慮しており、全ての人が対象とされているまた、普及の方法も大きく違い、バリアフリーは法律等で規制する事で普及させる「行政指導型」であるがユニバーサルデザインは、良いものを褒めたたえ推奨する「民間主導型」と大きく異なっている。今後八王子がより暮らしやすくなるためには、誰もが住みやすい街づくりを民間主導で行なっていくことも重要である。

5. 参考文献

- <https://ssl.city.fukuoka.lg.jp/fkmachi/pc/index.php> 2011年(2020年10月18日 閲覧)
- <https://www.mlit.go.jp/common/000168108.pdf> (2020年10月18日 閲覧)